



ふく福便り（緩和ケア病棟新聞）第3号



皆さん、歯科治療を受けるときに、「痛くないですか？」と問われたことはありませんか？そしてその時、気にしていなかった痛みが気になるようになった経験はありませんか？実はこれ、催眠術のようなものなんです。暗示心理学者で著名なフランスの医師エミール・クーエが発見した法則です。

- 1、意志と想像が争うとき勝つのは想像力の方である(第一法則)
- 2、意志と想像が一致したときはその力は和ではなく積である(第二法則)
- 3、想像力は誘導可能である(第三法則)

難しいことは抜きにして、患者さんは切羽詰まっていると認識してあげることが大切です。闘病中、あるいは処置中、患者さんは怯えています。耐えています。不安でいっぱいです。そういう状況で「痛くないですか？」「気分は悪くないですか？」といった声かけをすると不安が増強します。それより「心配ありませんよ」「私がついていますよ」といった声かけをしてあげるほうが心の安定につながります。ただし、我々は客観的变化を見逃さず、変化に対応する準備をしておくことが、プロとして求められるところです。(緩和ケア病棟医師 沖政)

担当者のつぶやき...

緩和ケア病棟では一般病棟になかった経験をしします。毎月のイベントでは患者さんとご家族に楽しい時間を過ごしていただくために看護師一丸となって取り組みます。折り紙、話術、パソコン技術など、意外な特技を発揮します。患者さんの個性に沿って必要なもの、求められるものが何か常に考えながら接しています。



5月のイベント CARPまつり

緩和ケアにおいて医療ソーシャルワーカーは、入院相談と社会背景の聞き取りをもとに必要な介入を行っています。そのため、患者さまやご家族の意向、病状の受け入れ、これまでの人生の総括、課題や心残りに触れる機会も多いです。一般病棟においてもこれらの支援は行ってきましたが、これまで以上にこのような心理社会的支援が重要になると考えています。今後も患者さまやご家族との関係性を大切に患者さまがより良い入院生活を送れるよう支援していきたいと思っています。MSW 小田



ほくの名前はポンです
家族の一員として
時々、お見舞いにきてます

次回イベント
6月8日(水)
音楽コンサート(バイオリン&ピアノ)
15時より開催します。
是非聴きにきて下さい

編集担当:竹本・豊島